

クラブ紹介

出来映え上々

『工芸クラブ』

手芸部として発足して十年あまりになります。最初は、職員が出来そうな物を習ってきて材料もあるものを持ち寄り、手芸を始めました。色紙の上に玉子の殻をのせたり、目をのせたり、又毛糸で編んだりいろいろな苦労がありました。が、すばらしい作品が出来ております。



何ができるか楽しみだなあ

平成になり先生もお迎えして、名前も工芸クラブとなり早くも、一年が過ぎました。クラブ会員も十五名となり、毎回十二、十三名が参加しております。

昨年十月には、身体障害者福祉センターにおいて、福祉展が開催され、ホームでも編物、ビーズの額、はり絵、ししゅうなど多数出品し、大変好評をえました。又十一月には町内文化祭、そして二月には松山中央郵便局ふれあい広場においてロビー展があり、好評のうちに終わりました。

又今年も、若さを保つためリハビリをかね頑張ります。そして、考える喜びを知ろう。作って楽しもう。をモットーとしております。皆さんもぜひご参加下さい。お待ちしております。

部長

飯尾小枝子

副部长

松浦ユキ子

クラブ員

十五名

活動日

第一、第三金曜日

山びこ

家族からの便り

一歩も外に出た事もない生活でしたのにこの三年前にホームの御世話になる事になり、安心しています。私は日頃身体が弱いので大変助かって居ります。職員の方が皆とても親切にして頂き、家の者、渡共々喜んで居ります。始めは毎日の様に心配して失敗ばかりして居るのではないだろうか、寮母さんに言葉が通じないのではないかと、又大声を出して園生の方々に迷惑をかけているのではないかと思いつかれませんでした。ホームに入ってから言葉もすこし多く話せる様になり又クラブ活動にも参加させていただき色々な事を教えてもらい感謝致して居ります。

昨年は飛行場につれていってもらい大変喜んで居りました。今ではホームの生活にもなれ、食堂にもつれていってもらい毎日楽しそうにして居ります。時々ホームにお邪魔してはいますが、園生の方々は大変に皆頑張っています。自分では精一杯しているので感心致しました。どうか園生の方々のハッピーを乗り越えて、これからも一層頑張ってくださいませ。寮母さんには一方ならぬ御世話様に成りますが今後共よろしくお願ひ致します。

園生高橋渡さんの母親より